

様式第二号の十三(第八条の十七の二関係)

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書	
令和 2 年 6 月 2 9 日	
愛 知 県 知 事 殿	
提出者	
住 所 愛知県刈谷市昭和町1丁目1番地	
株式会社 デンソー	
氏 名 取締役社長 有 馬 浩 二	
株式会社 デンソー幸田製作所	
代理人 所長 前 岩 修	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0 5 6 4 (5 6) 7 7 2 5	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事 業 場 の 名 称	株式会社 デンソー幸田製作所
事 業 場 の 所 在 地	愛知県額田郡幸田町大字芦谷字丸山5
計 画 期 間	令和2年4月1日～令和3年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事 業 の 種 類	2 9 電気機械器具製造業
② 事 業 の 規 模	1 9 年度「製造品出荷額」：4 6 9、9 6 2 百万円
③ 従 業 員 数	3, 9 8 7 人
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

幸田製作所：事業場総括環境管理者（担当役員）

所長(事業場副総括環境管理者)【産業廃棄物処理責任者(総括責任者)】

幸田安全衛生環境：課長(環境企画管理者)

課長**【特別管理産業廃棄物管理責任者】**デンソーファシリティーズ：**担当者【産業廃棄物処理施設技術管理者】**

製造部等：部長(環境管理者)、室長・工場長（副環境管理者）

課長(環境責任者)、係長(副環境責任者)、班長(環境推進者)

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和 元 年度）実績】					
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	腐食性廃酸	腐食性廃アルカリ	感染性廃棄物	特定有害産業廃棄物
	排出量	396.9 t	335.1 t	1.2 t	0.19 t	0 t
	（これまでに実施した取組） ゼロエミッション活動を継続し、レベルを維持するとともに、発生量の低減や再生利用の促進に向けて取組む。					
②計画	【目標】					
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	腐食性廃酸	腐食性廃アルカリ	感染性廃棄物	特定有害産業廃棄物
	排出量	396.9 t	335.1 t	1.2 t	0.19 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） ・廃棄物管理、発生抑制に役立てるため、計量システムを活用する。 ・製品づくりの各段階で、廃棄物を出さない仕組みについて検討を進め、排出抑制に努める。 例） 製品設計：材質変更、製品形状の工夫 工程設計：加工方法の変更、加工条件の最適化 生産段階：不良品の低減、ムダの排除 など					

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 現状の分別は、リサイクル業者等と検討・調整の上、適正に決定すると共に、分類表等により事業所内へ周知展開している。
②計画	（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・分別促進により排出抑制可能なものは、分類毎に分別回収しており、今後も維持・継続する。

(第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 元 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 元 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

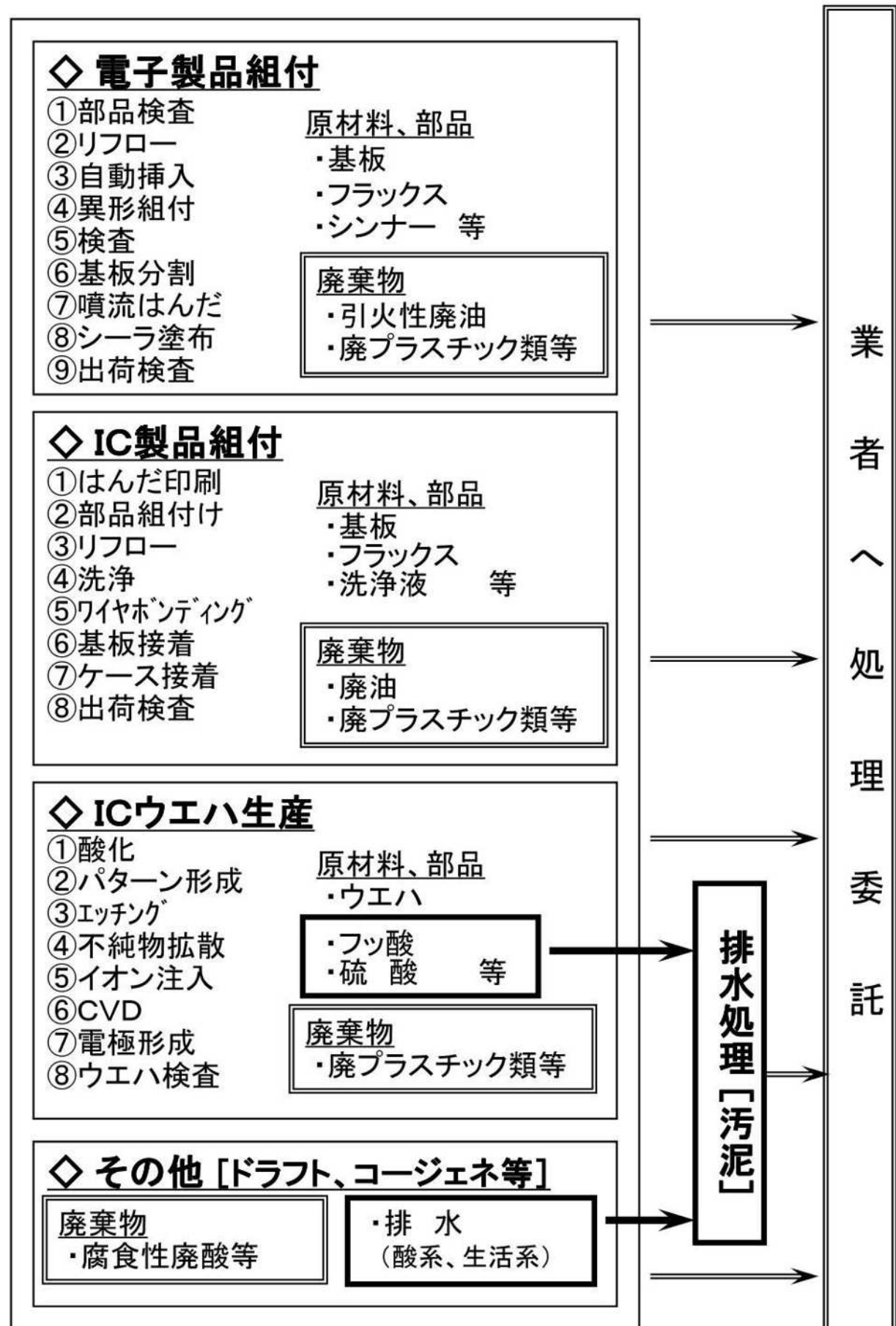
① 現状	【前年度（令和 元 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

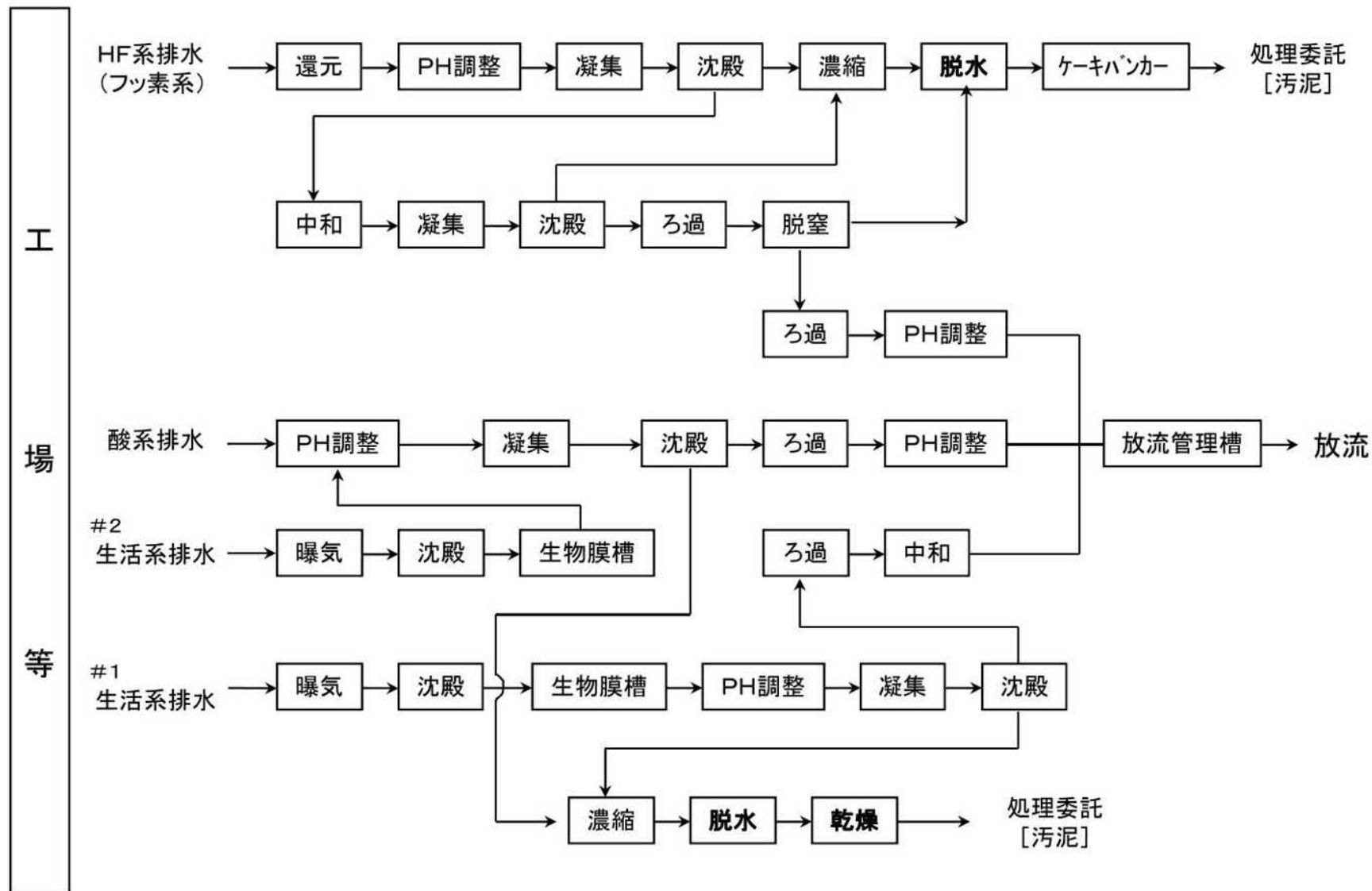
① 現状	【前年度（令和 元 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	全処理委託量	別紙のとおり	別紙のとおり
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	- 新規に委託を行う際は、契約前に現地確認を行い、委託内容に見合った適正な料金で、収集運搬業者、処分業者、それぞれと委託契約を行う。 - 処理業者の許可証や処理能力の確認を確実にを行う。 - 委託先には、性状等を予め通知する。 - 委託先の現地確認を年1回以上行い、適正に処理されていることを確認、記録するとともに、当該記録を5年間保存する。 - マニフェストの管理を適正に行う。		

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	全 処 理 委 託 量	別紙のとおり	別紙のとおり
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・現状の取り組みを継続する。		
電子情報処理組織の 使用に関する事項	【前年度（令和 元 年度）実績】		
	特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 排 出 量 （ ポ リ 塩 化 ビ フ ェ ニ ル 廃 棄 物 を 除 く 。 ）	733.4 t	
	(今後実施する予定の取組) 全て電子情報処理（マニフェスト対応）業者と契約している。 今後も継続実施する。		
※事務処理欄			

産業廃棄物(特別管理産業廃棄物)発生工程フローシート



排水処理工程フロー図(概要)



【前年度(令和元年度)実績】

単位:t

産業廃棄物の種類	引火性廃油	腐食性廃酸	腐食性廃アルカリ	感染性廃棄物	特定有害産業廃棄物
排出量	396.9	335.1	1.2	0.19	0

【令和2年度の目標】

単位:t

産業廃棄物の種類	引火性廃油	腐食性廃酸	腐食性廃アルカリ	感染性廃棄物	感染性廃棄物
排出量	396.9	335.1	1.2	0.19	0

【前年度(令和元年度)実績】

単位 : t

産業廃棄物の種類	引火性廃油	腐食性廃酸	腐食性廃アルカリ	感染性廃棄物	特定有害産業廃棄物
全処理委託量	396.9	335.1	1.2	0.19	0
優良認定処理業者への処理委託量	114.6	335.1	1.2	0.19	0
再生利用業者への処理委託量	396.9	335.1	1.2	0.19	0
認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0

【令和2年度の目標】

単位:t

産業廃棄物の種類	引火性廃油	腐食性廃酸	腐食性廃アルカリ	感染性廃棄物	特定有害産業廃棄物
全処理委託量	396.9	335.1	1.2	0.19	0
優良認定処理業者への処理委託量	114.6	335.1	1.2	0.19	0
再生利用業者への処理委託量	396.9	335.1	1.2	0.19	0
認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0